

鹿児島水処理株式会社



(本社の建物)

〈主な業務内容〉
水処理薬品、水処理装置、水処理周辺
機器の販売・工事

〈ISO14001 取得月〉

2002年 6月



(環境管理責任者 営業技術部部长 黒木様)

今回お邪魔したのは、鹿児島市東開町にある鹿児島水処理株式会社です。平成23年度の鹿児島市環境管理優良事業所として表彰、事例発表されました。

水と環境のエンジニアリング事業を展開されており、お客様からの要請と社長の環境への強い思いがあり、県内でも早めにISO14001を導入されています。

環境の取組み

電気・紙・一般廃棄物は活動当初から約半分に削減されています。電気については配電盤のスイッチを元から切る等の徹底ぶりでした。

また10kwのソーラーや雨水タンクの設置や薬品容器のリサイクル回収等に取り組まれていました。

車燃料についてはエコドライブコンテスト等に参加し意識と実践力を高めています。

地域貢献としては「鹿児島水質マップ」作成や水処理情報誌

[「水すまし」](#)を定期発信しています。専門的なことが掲載されていますが、写真やグラフが多く活用され、一般の方にも読みやすいものとなっています。



循環回収容器

システム継続の秘訣

環境システム導入当初は、会社の割には重たいシステムでしたが、時間をかけながら会社に合った使いやすいシステムに変えてきました。

また本業に直結する目標設定することにより、社員がやりがいを感じ長年にわたって、活動が継続できていると話されていました。

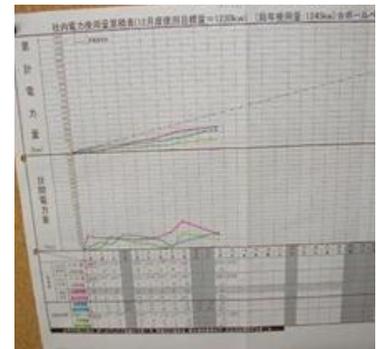
さらに長年、環境活動を続けているとマンネリになってくるとのこと。そこで、担当者を交替する等の変化をつけていました。

それらのことにより、1人ひとりの意識が高まり、自主的に役割を見つけ、取組む体制が作られてきたとのことでした。

事務所には、活動の目標・経過が全員に良く分かるように大きな環境掲示板がありました。



雨水タンク



電気使用量の毎日管理グラフ

今後の展開

水のインからアウトまで工場全体をマネジメントすることが、無駄を省けることにつながっていくので、そのような助言ができる体制を今後作っていきたいと話されていました。

また、鹿児島水処理株式会社の取引先としては、食品関連工場が多く、ボイラ水処理薬品はお客様の要望の声に応えた、食品（JAS 法）および食品添加物（食品衛生法）の素材のみを原料とした安心・安全なものとなっています。このような動きをさらに拡大したいとのことでした。

お話を聞く中で、環境システムを長く継続していくことの難しさと、試行錯誤しながら改善・向上されている姿勢に感動しました。

貴重な時間に、取材へご協力をして頂き、誠にありがとうございました。